



「富富富」通信(第2号)

令和8年7月14日
JAアルプス「富富富」ブランド化推進協議会

【管内調査圃場の生育状況】

近年に比べて草丈はやや長く、茎数は並、葉色は淡く、葉令の展開は0.5葉早くなっています。

管内平均の5月12日移植の圃場での幼穂形成期は、近年より4日早い、7月29日頃の予測です。

【生育量の目安】

目標とする生育量は表2のとおりです。

生育状況に応じた適切な水管理や追加穂肥の施用により、目標生育量となるよう努めましょう。

収量が安定し、良食味・高品質米に仕上がります！



表1 富富富の生育状況（7月6日調査）

年度	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色	葉齢	幼穂 形成期	出穂期
R8年※1	5/12	62.4	564	4.0	11.9	(7/8)	(7/29)
R7年※2	5/14	64.0	481	4.1	11.3	7/12	8/1
近年※3	5/13	58.9	549	4.2	11.4	7/11	8/2

※1 管内6か所の平均 ※2 管内5か所の平均 ※3 H29～R7の平均

表2 生育ステージ別目標生育量

	幼穂形成期	穂揃期
草丈	62 cm	90 cm
茎数 (70株/坪の場合)	580 本/m ² (27 本/株)	400 本/m ² (19 本/株)
群落葉色	4.0	4.4

1 幼穂形成期以降の水管理

- ・稲体や根の健全化のため、幼穂形成期から出穂期までは飽水管理を行いましょう。ただし、葉色が濃い場合は間断かん水を行いましょう。
- ・稲体の活力を維持し、胴割米の発生を防ぐため、出穂期から20日間は湛水管理、刈取り5～7日前までは間断かん水を徹底しましょう。
- ・下流域まで十分に水が行き渡るようかけ流しをやめ、地域での計画的な用水の利用に努めましょう。

【YouTube】
10 中干し後の
水管理



【YouTube】
15 水稻の登熟
期間の水管理



【生育中の水管理のイメージ】

生育期	幼穂形成期	出穂期	出穂20日後	収穫5～7日前
水管理	飽水管理	湛水管理	間断かん水	
水量				

飽水管理

『飽水管理』入水後→自然落水→入水(出穂始めまで繰り返す)



「田面の高い部分が隠れる程度」

繰り返す



「この状態になったら入水」



「この状態は乾かしすぎ」



2 穂肥施用

(1) 基肥一発肥料

- ・今年は早い時期から葉色が淡いほ場が見られるので、
①幼穂形成期以降の葉色が4.0未満とかなり淡い場合
又は

②出穂7～10日前の葉色が4.2以下の場合
直ちに窒素成分で1.0kg/10a程度の追加穂肥を施用しましょう。



玄米タンパク含有率の目標は6.4%以下です。
過剰な穂肥施用は玄米蛋白含有率が高くなる
ので注意しましょう。

(2) 分施肥系

- ・表3を参考に、必ず幼穂長を確認してから施用してください。
- ・1回目穂肥時期（幼穂形成期の7日後頃）の幼穂長は1.5cm程度です。

表3 穂肥施用量の目安

土壌区分	肥料名	施用量 (kg/10a)	
		1回目 (幼穂形成期の7日後)	2回目 (1回目の7日後)
砂壤土	追肥3号	5～7	10～13
壤土・黒ボク土			10～12
粘質土			10



幼穂形成期に目標生育量を超えている場合、
1回目穂肥は施用せず、幼穂形成期の14日後
に追肥3号で10kg/10a施用してください。

3 病害虫防除（化学合成農薬の成分使用回数は 12 以内を厳守）

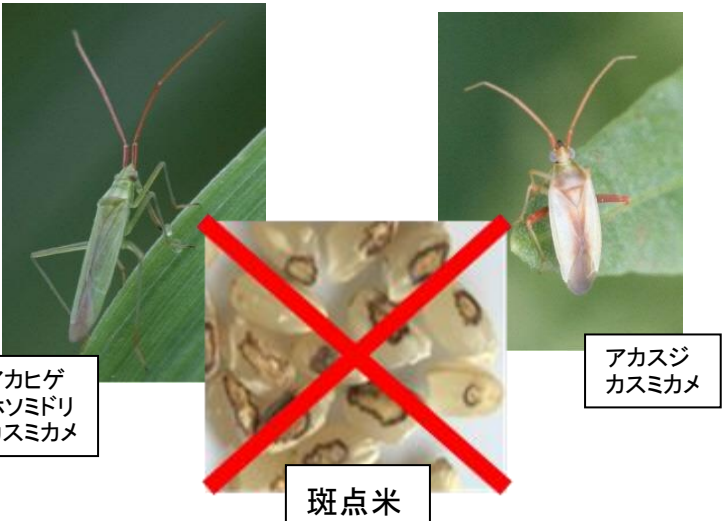
- ・今年もカメムシ類の密度がかなり高くなっています。2 回の基本防除を確実に実施しましょう。
- ・「葉いもち」の防除は省略できますが、「穂いもち」の防除は必須です。表 4 のとおり基本防除を実施して下さい。

【YouTube】
14 本田基本防除



表 4 防除体系

	穂 揃 期	傾 穂 期
粉 剤	ラブサイドキラップ粉剤 DL (収穫 14 日前まで)	スタークル粉剤 DL (収穫 7 日前まで)
	散布量: 4kg/10a	散布量: 3kg/10a
液剤体系 《通常散布》	ラブサイド K2 フロアブル 1,000 倍(収穫 14 日前まで)	スタークル液剤 10 1,000 倍(収穫 7 日前まで)
	散布量: 150L/10a	散布量: 150L/10a
液剤体系 《空中散布》	ラブサイド K2 フロアブル 8 倍(収穫 14 日前まで)	スタークル液剤 10 8 倍(収穫 7 日前まで)
	散布量: 0.8L/10a	散布量: 0.8L/10a
対象 病害虫	いもち病、カメムシ類、 ウンカ類(※粉剤のみ)	カメムシ類、ウンカ類、 ツマグロヨコバイ(※空中散布は除く)
成分数	2	1



アカヒゲ
ホソミドリ
カスミカメ

アカスジ
カスミカメ

斑点米

適期のカメムシ防除で
斑点米の発生を防ぎましょう！

流通基準を要確認！

- ・検査等級: 1 等
- ・化学合成農薬の成分使用回数: 12 以内
防除の前に今一度使用状況を確認しましょう。

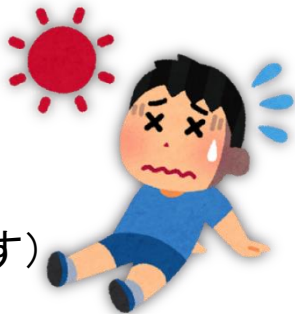
※散布の際は、農薬のラベルに記載された使用基準を必ず守りましょう。

4 熱中症対策

⚠ 熱中症対策をして農作業を行いましょう！

〈農作業中の熱中症予防のポイント〉

- ① 早期発見のための体制整備や、重篤化防止のための措置の実施手順を作成し、作業者に周知しましょう。
- ② 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう。
- ③ 帽子や熱を逃がしやすい衣服の着用や保冷剤等で体を冷やしましょう。
- ④ 屋内の作業では必要に応じて送風機などを利用しましょう。
- ⑤ のどが渇く前に、こまめに水分や塩分を補給しましょう。
- ⑥ 作業はできるだけ複数で行い、時間を決めて体調確認を行いましょう。
- ⑦ 熱中症警戒アラートを活用しましょう(環境省・気象庁 HP、富山防災 WEB で確認できます)

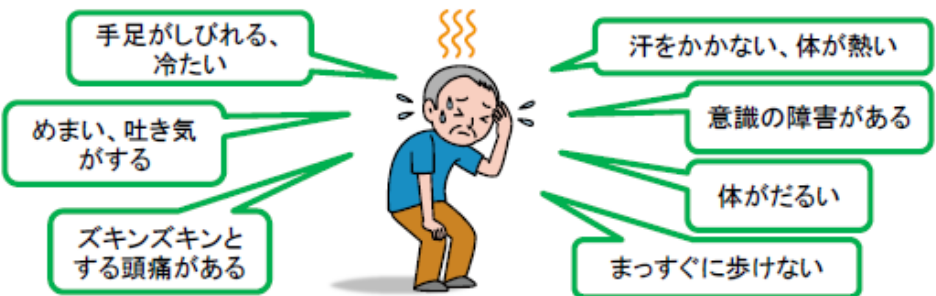


環境省 HP「熱中症予防情報サイト」 <https://www.wbgt.env.go.jp/alert.php>

- ・熱中症が疑われる場合は、すぐに作業を中断して応急処置を行うか、病院で手当を受けましょう。

○熱中症による代表的な症状

○応急処置の例



- ・涼しい場所へ避難しましょう。
- ・服をゆるめて風通しをよくしましょう。
- ・水をかけたり、扇いだりして体を冷やしましょう。
(脇の下、両側の首筋、足の付け根を冷やすと効果的。)
- ・水分や塩分を補給しましょう。

適切な水管理や穂肥施用で、高温気象にも負けない稲体に育てよう！

生産者の皆さんも熱中症対策で暑い夏を乗り切りましょう！



「富富富」通信第3号(収穫乾燥調製等)は、8月28日頃の発行予定です。